

展覧会名

ミュージアムコレクションとつくり手たち

会 期

2022年3月19日(土) - 2022年6月20日(月)

会 場

 山梨ジュエリーミュージアム  
 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁)

入館料

無 料

お問合せ

山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

## 展覧会概要

山梨の宝飾産業は、かつて上質な水晶が甲府市北部の金峰山一帯から採れ、その研磨・彫刻加工を担ったことから発展し、現在も地場産業として大きな役割を果たしています。

ジュエリーの制作時には、多くの専門技術を持つ人たちが関わります。

職人はデザイナーとイメージを共有し、デザイン画を忠実に再現しつつも描かれていない部分を読み取り、仕立てていきます。

ジュエリーは、それぞれものがひとつの完成された世界です。その小さくも豊かな世界をより一層楽しむために、その制作過程を少し覗いてみませんか。

今回の企画展では当館の館藏品とともに、ジュエリーのデザイン画や制作の途中経過をご紹介します。

展示には、研磨職人のオリジナルカットからイメージを膨らませてデザインされたジュエリーなど、原石のセレクトや研磨からはじまり、手づくりの貴金属パーツ等、細部に至るまで山梨の宝飾の技術が詰まった当館ならではのジュエリーが並びます。

デザイナーの意図や制作過程などの背景を知ることによって、ジュエリーは一層心の琴線に触れるものとなるのではないのでしょうか。

また当館では、土日祝日に実演工房にて、職人による作業を見学することができます。間近で見る機会の少ない、職人の仕事ぶりを企画展とあわせてご覧ください。

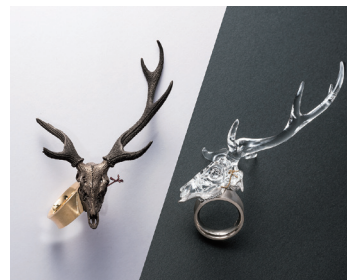
※新型コロナウイルス感染防止対策の為、やむを得ず実演・体験工房を中止する可能性もございます。ご了承ください。  
 変更の際は当館HPやInstagram等でお知らせしますので、ご来館前にご確認ください。

## 主な展示作品



## 1. 「希望」

デザイン：西 美由紀

 制 作：山本製作所 山本 武  
 ジュエリーフルヤ 古屋 知宏


## 3. 「死と再生」

デザイン：角田 いづみ

 制 作：株式会社詫間宝石彫刻 詫間 悦二  
 株式会社シンク 新谷 智啓


## 2. 「夢カプセル」

デザイン：林 知花

 制 作：貴石彫刻オオヨリ 大寄 智彦  
 深澤 夏樹


## 4. 「綾」

デザイン：高橋 杏奈

 制 作：株式会社コダマ  
 株式会社K A R A T

同時開催

## 「切手を愛でるーグリーティング切手「宝石・鉱石～自然の芸術～」発行に寄せてー」

2022年3月19日（土）ー6月20日（月）

グリーティング切手「宝石・鉱石～自然の芸術～」の発行にあわせ、日本の宝石学の普及に寄与した故・近山晶氏の宝石・鉱物切手コレクションと関連する宝石・鉱物をご紹介します。

### 体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。

体験に際しましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。



※こちらに掲載している写真は、新型コロナウイルス感染症発生以前に撮影したものです。

### 広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話  |
| ② 媒体名・掲載（公開）予定日    | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名        |           |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報等など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛（jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp）にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字寄せ等は行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVD1枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。

※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度（300-400dpi）とオンライン用の低解像度（72dpi）の2種類の画質をご用意しております。